

那須南月山クリーンハイク山行報告

【山行日】2018年6月14(木) 晴れ

【集 合】栃木市運動公園P AM 7:00

【費 用】マイカー2台 : 1,000円

【メンバー】CL:鈴木、岩淵、大西、岡、島田、
関、田崎、田村、福島、福田、安西、石澤

【コースタイム】栃木市運動公園P7:00＝

那須 RW 山麓駅 P8:30/8:40++RW 山頂駅

8:50/9:00～牛ヶ首 9:30～南月山 10:10/10:20～

牛ヶ首 11:00/11:10～峰の茶 11:25/11:30～朝日

の肩 12:10/13:00～峰の茶屋 13:35～RW 山麓駅

14:40＝柏屋 15:10/15:30＝栃木市運動公園 P16:40



梅雨の晴れ間を狙って、平日山行で那須南月山から朝日岳を登る計画を立てた。

6/10(日)の三本槍岳クリーンハイクが雨で中止になったため、今回の山行をクリーンハイクとして実施することにし、トンゴやレジ袋、軍手を用意するよう連絡する。

平日山行にもかかわらず12名の参加者があり、賑やかなクリーンハイクとなった。



栃木市運動公園を7時に出発し、東北道を北上して那須 RW 山麓駅駐車場に8時30分に着く。準備を整えたら急いで山麓駅に行き、ロープウェイに乗り山頂駅に着く。山頂駅でトイレを済ませたら外に出て、ストレッチを行ってから出発する。青空で天気は良いが風が強く、少し肌寒く感じながら歩き始める。

茶臼岳への分岐を過ぎ、茶臼岳の南側に回り込むと風が弱く寒さは感じなくなった。登山道にはゴミがほとんど無、注意深く探しながら歩き、ようやく小さな紙くずを見つめることが出来

た。南月山へのコースは初めての方も多く、真っ青な空に噴煙を上げて聳える茶臼岳に「栃木県にこんな素晴らしい山があったんですね」と感動していた。牛ヶ首で休憩し、衣服調整と水分を補給する。ここからの眺望は素晴らしく、眼下には姥ヶ平が広がりその向こうには流石山から三倉山が連なり、遠くには残雪の会津の山々が白く輝いている。

ここから南に南月山への尾根を進むと、ミネザクラやハンノキ、ドウダンツツジの葉が茂

る緑のトンネルを登るようになる。コイワカガミやコケモモ、ツマトリソウ等の花に癒されながら登り、



明るく開けた日の出平に着く。さらに平坦な小ヤブの道を進むと、黒い火山岩だらけの広い場所に出る。右下に沼原の貯水池を見ながら、火山礫の緩やかな道をたどると南月山山頂に到着する。ベンチにザックを置いて山頂の看板の前で記念写真を撮り、トマトやマンゴーフルーツを食べての



どを潤す。ベンチの周りの茂みや三角点の周り、祠の周りを入念に探したがゴミは少ししか無く、ハイカーのマナー向上を感じた。山頂からは往路を牛ヶ首まで戻るが、前方に茶臼岳の雄姿を見ながら下る絶景のコースだ。牛ヶ首まで戻ったら左に下り、ゴウゴウと音を立てて水蒸気が出ている無間地獄を通り、硫黄採掘跡を横に見ながら峰の茶屋に着く。

多くの登山者が休んでおり、我々も小休止し朝日岳への登りに備え、煎餅や菓子を食べ

エネルギーを補給する。朝日岳へは、剣ヶ峰の岩稜を東側から巻くように進む。恵比寿大黒岩など奇岩を見ながら、露岩の間を急登し本日のコース随一の難所を通過する。クサリが付いた岩場を2箇所慎重にトラバースし、急なザレ場を登り切ると朝日の肩へ飛び出る。肩のベンチには大勢の登山者が休憩しており、我々もザックをベンチの側に置き朝日岳山頂を目指す。我輩はベンチに残り、皆さんが朝日岳に登っている間に昼食のうどんを作る。皆さんが山頂から戻り、賑やかなランチタイムが始まった。味噌おでんや出汁巻き卵、キュウリの漬物等々が並び、皆さんが持参したおやつが全部出されて凄いことになっている。食べ切れない分は各自ザックに入れて、下山を開始する。往路に戻るが、岩場やクサリ場はゆっくり慎重に下り、安全な場所は余裕が出て眺望を楽しみながら下っていた。峰の茶屋で小休



止し、水分を補給したら RW 山麓駅に向かって下って行く。峠の茶屋駐車場でトイレを済ませ、駐車場のゴミを拾うがたばこの吸い殻が少しあったが、以前と比べるとかなり少なくなっていた。

RW 山麓駅に戻り、皆さんが拾ったゴミを前に写真を撮り、靴を履き替えたら帰路につく。

下山したらコーヒーが飲みたいと言うので、薄皮まんじゅうの「柏屋」へ寄り、お土産を買って無料のコーヒーやお茶をいただいてから栃木市運動公園へ向かう。

梅雨の合間の晴天に恵まれ、無事クリアハイクも実施出来、皆さん大満足の山行となった。